

ニースレター

(2017年 2月号)

グループホームネット香川



2月

もくじ

- 理 事 長 卷 頭 言 (2)
- グ ル ー プ ホ ー ム の 様 子 (3)
- 事 務 局 便 り (4)

▼ △ ▼ △ **理事長巻頭言** ▼ △ ▼ △
あけましておめでとうございます

理事長 細谷 要一

新しい年が始まりました。今年もよろしく願いいたします。

さて、昨年夏以降、当法人のグループホームでは、利用者のニーズによる「女子会」や「食事会(料理教室)」の集まりが少しずつ定着してきています。仕事やボランティアなど地域での活動に活発な方がいる一方、関係する機関や人との“トラブル”も時に起きています。まずは本人の問題ですが、サポートの必要性、かかわり方に苦慮することもあります。(いろいろな出来事が起こるのが、これもまた日常ですが…)

理事会では、グループホーム運営における入居者数の回復と収支の安定化に向けて、また組織運営については、事務局体制改善の議論を続けてきました。年が明けてやっと一段落したところです。

先日、某新聞に「精神疾患がある親と暮らす子どもたち」と題する連載記事がありました。精神疾患がある親と暮らす子どもたちは、周囲とのかかわり方について悩むことや、成長した後にもそのことの影響が残るといった実態が紹介されていました。そして、その中で目に留まったのが、この“子どもたち”への支援の取り組みが、欧米に比べ日本では非常に遅れているということでした。

私自身、かつて精神医療の場で精神障害がある方や家族の方々を支援する仕事をしていましたが、家族といっても年少の子どもたちや成人した後の人たちとのかかわりは、少なかったことが思いだされました。この記事から改めて精神保健福祉の領域の広さ、深さそしてその対応の遅れを思い知らされました。

今すぐに、その子どもたちの問題にかかわることは難しいでしょうが、我々は、現在運営しているこのグループホームの事業を、我々が考えている理念に近づけることに力を注いでいくべきであると認識しています。グループホームを利用される方一人ひとりが、地域で主体的に生き生きとした生活を送れるように、より良いサポートを心がけることです。

この福祉サービスをスムーズに提供していくためには、しっかりした業務管理や人事管理が必要ですが、これまでその点に脆弱なところがありました。今年度はそこを改善しようと検討を続けています。この組織が「堅実で信頼性の高い運営のできる団体」になることがまず重要ですし、事業発展を図るために必要なことだと考えています。

▼ △ ▼ △ グループホームの様子 ▼ △ ▼ △ ビーズキッチン

ホームワーカー 和泉真由美

私たちのグループホームでは年間を通して色々な行事を計画して、入居者の交流や、親睦を深める機会があります。その中には、お花見やイチゴ狩り、防災センターでの防災体験などがあります。また女性の入居者は、以前にも紹介しましたが、偶数月に女子会をしています。男性の入居者が参加できる定期的な企画がなく、男性の入居者から参加できる企画がないかとの要望があがり、男女ともに参加できる料理教室を企画しました。そして、この料理教室を「ビーズキッチン」と名付けました。

初めに、どんな料理教室にしたら良いかを考えるために入居者の皆さんに料理に関する簡単なアンケートをお願いしました。

入居者の方が日頃どのように調理して、どんなものを食べているのかを知るところから始めました。すると、包丁を持っていない(持てない)人がいる事、炊飯器と電子レンジは比較的に皆持っている事、持っている調味料などにもばらつきがあることがわかりました。



そこで、GHで行う料理教室は簡単にでき、お金がかからず、それでいて美味しい。そんな料理教室にできたらとの思いを持って始めることになりました。



第一回目のメニューは「ミックスベジタブルピラフ」「豆腐ハンバーグ」「ポテトサラダ」「野菜たっぷりチャウダー」の4品で参加費300円。安くて、美味しくて、お腹いっぱいになるメニューでした。

残念ながら、最初に募集した時は10名以上いた参加希望者も当日には男性ばかりの3名に減ってしまいましたが、和気あい

あいと楽しく調理する事が出来ました。

参加した入居者の一人が帰ってから早速作ってみて「今までお惣菜買っていた半分の値段であんなに美味しいものが食べられるなんて信じられない。今度はいつ?メニューは?」と共同部屋に来るたびに聞かれたりもしました。まだ、始まったばかりの料理教室(ビーズキッチン)ですが、これを機会に入居者の方たちが少しでも料理に親しみ、健康をサポート出来る事を願ってこれか

らもずっと続けていきたいと思っています。

参加した入居者の声

- おいしい料理をありがとう
- とても分かりやすく、簡単でおいしくできるのでとても参考になります
- 定期的にしたいたい

▼ △ ▼ △ **事務局便り** ▼ △ ▼ △
年の初めに

事務局員 増田 周作

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。

と言いつつも、発行が遅くなってしまい、遅めの新年のごあいさつとなってしまうしました。

世の中の情勢も時々刻々と変化しており、わたしたちが生活していく上でかわりがある、年金給付抑制策などを盛り込んだ国民年金法改正法やカジノ解禁を柱とする統合型リゾート推進法などが昨年末の国会で成立しており、今後の状況が気になるところです。

海外に目を向けるとアメリカでは新しくトランプ大統領が就任、韓国の大統領は弾劾訴追、イギリスのEU離脱など世界情勢も気になることがたくさんあり、目が離せません。

私自身、公私を問わず、入居者のこと、保育所の待機児童のこと、気になることがたくさんあります。私だけが特別ではなく、入居者、会員のみならず、職員、理事、みなさん同じだと思います。

入居者への支援を考えていく中で、入居者が日々の生活の中で、何を思い、何を感じ、何に困っているのか。それぞれの入居者一人ひとりの声に耳を傾け、かわりを深めていけたらと思っています。

入居後は、個別支援計画の作成を行いGHでどのような支援を受けて生活を続けていくかについて、話を聞かせてもらい、入居者と一緒に支援計画を作成していきます。

何ができて、何ができないか、お互いにできることとできないことを擦り合わせながら、入居者と共に楽しく、元気に過ごしていきたいと思っています。

(発行) 特定非営利活動法人 **グループホームネット香川**

連絡先： 香川県高松市円座町1124番地6

TEL : 087-885-5270 Fax : 087-887-5955